

2026年6月18日

報道関係者 各位

株式会社フジタ

## 2026年 VE 発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：奥村洋治）は、5月22日に「2026年 VE 発表会」を都内会場およびウェブ会議システムを活用し開催しました。

### 1. 概要

日時：2026年5月22日（金）

発表数：28編

参加者：805名（フジタ本社および支店、事業部、関係会社）

### 2. 開催の趣旨

発表会はフジタ、関係会社から優れた VE 実施事例を報告することにより、相互の情報交換を通じて VE 技術の向上と VE 活動の啓もう、および発展を図ることを目的に毎年開催しています。

### 3. 発表内容

冒頭、平野徹取締役副社長安全本部長（日本バリュー・エンジニアリング協会常任理事）よりあいさつがありました。続く事例発表では、本社および支店、事業部、関係会社から VE の取り組みとして2025年度に報告された VE 事例 447 件の中から、建築、設計、営業、管理、設備、土木の6部門 25 編、ならびに関係会社より 2 編が発表されました。発表内容は施工の省力化・合理化、機能向上、コスト削減、DX・AI 活用に関する取り組みなど多岐にわたりました。表彰式では、最も評価が高かった発表を社長賞として選出したほか、各賞が発表され、篠原博上席執行役員品質・環境本部長（VE 推進委員長）から表彰状が手渡されました。

#### 平野徹取締役副社長安全本部長（日本バリュー・エンジニアリング協会常任理事）あいさつ要旨

当社は1970年頃より VE に取り組み、高度経済成長からバブル崩壊、その後の失われた35年と呼ばれる長期停滞期に至るまで、時代の変遷の中で一貫して活動を続けてまいりました。

かつての VE は、主にコスト効率の追求に専念する「 $V = F/C$ 」の考え方が主流でした。しかし、世の中が激動し、DX への転換が急務となる現代において、価値の定義も変化させる時期に差し掛かっていると考えています。特に先端産業のプロジェクトでは、「 $V = F/T^2$ 」という新機軸が重要になると捉えています。これは、工期を半分に短縮できれば、お客さまにとっての価値は二乗、すなわち4倍に増えるという考え方です。また、GX の観点では、CO<sub>2</sub> 排出量の削減を価値と捉える「 $V = F/CO_2$ 」への対応が強く求められています。

VE は、いかなる時代においても価値創造を実現するための思考の原点です。本日の発表会を通じて、全従業員がこうした新たな価値基準を深く理解し実践することで、お客さまへの提供価値と当社の企業価値をさらに高めていけるよう邁進していきましょう。本日の発表が、皆様にとって実りあるものとなることを心より期待しております。

#### 4. 審査結果

審査の結果、優秀事例は以下の通りです。

##### ■社 内

社 長 賞：建築部門

「QRコードを用いた図面/情報閲覧・進捗報告のデジタル管理【超省力化】」

※建築部門 最優秀賞同時受賞

最優秀賞：設計部門

「建屋構成の見直し（2棟→1棟構成）による設計合理化・工期短縮・工事費削減」

：設備部門

「香料工場空調排気脱臭システム設計の改善」

：土木部門

「盤ぶくれ対策のコスト縮減」

※土木部門 環境部門賞同時受賞

##### ■関係会社

最優秀賞：藤田商事株式会社「携帯サポート業務をRPAで効率化」



篠原VE推進委員長（左）から社長賞受賞者に表彰状が手渡された

#### 【お問い合わせ先】

株式会社フジタ 広報室

TEL 03-3402-1911